

ききょう通信

2023年2月号



2023年2月5日発行

桔梗が丘自治連合協議会（桔梗が丘市民センター内）
〒518-0626 名張市桔梗が丘6番町1-131-4
TEL/FAX 65-1206 □ koho@kikyogaoka.jp

6,025世帯・13,896人（2023年1月1日現在）
+5世帯↑ +1人↑（前月比）

「議会報告会」に住民ら大勢出席

桔梗が丘駅前の元気・賑わいの復興は、名張市において最も重要な課題の一つであり、新春1月12日（水）に北川市長と大垣協議会会長が懇談し、今後名張市と地域が連携して協議を進めいくことになりました。

「議会報告会」の冒頭に、富田議員から資料に基づいて委員会等の活動報告がありました。

- 防災・減災に関する要望書を市長に提出
- 市立病院の経営に関する提言書を市長に提出
- 市立病院経営改革特別委員会を設置
- 通学路の安全対策に関する要望書を市長・教育長に提出

出席議員（左から）

永岡、小林、富田、三原、柏、坂本議員

協議会 大垣会長



別室で議会報告会の様子を見守る人たち



駅前の再開発についての懇談まとめ（要旨）

協議会大垣会長

市長との話し合いで商工会議所にも理解を求めることが、市と地域が一体となって近鉄側と協議していくことが必要であることを確認、議会に特別委員会の設置を求める。

三原議員（議会報告会班長）

駅前再開発について、賑わい・活性化の提案を頂いた。市と地域が一体となって取り組みたい。議会として、どうあるべきか、認識を持って実現に向けて取り組む。

今回の議会報告会では、議会の活動報告後、桔梗が丘駅前再開発等熱した議論が真剣に交わされました。

会場となった大会議室は一杯になり、別室でテレビ放映による参加となりました。

桔梗が丘駅前の再開発について、参加住民から意見・要望等の発言があり、議員の見解が述べされました。

住民の発言（要旨）

- 駅前の再開発は市の発展につながる、議会に活性化特別委員会を設置して取り組みを進めて欲しい
- 病院、介護施設など、近鉄も加わったプロジェクトを
- 駅前駐車場が老朽化して使用不可、早急な対応を願う
- 市長が近鉄不動産と協議をして欲しい
- 駅前の賑わいを商店街の活性化に繋げる
- 桔梗が丘の問題だけではなく、名張市全体の問題と捉えて
- 屋内公園、図書館、店舗などがあるドーム型施設の整備
- 市が元近鉄プラザの建物を借り上げて、運転免許証返納者が近くで買い物ができるような施策を望む
- 駅前に安全なトイレ施設が必要
- 駅前再開発は、実態を調査し、コンセプトを明確に
- この他にも皆さんから、桔梗が丘住宅地入居時の賑やかさを懐かしみ、現状打開を望む声が多くありました。

子や孫に
希望が持てる街にしてください

70代
女性

60代
男性

駅前再開発は、
住民も関心をもって
協議会と一緒にになって
考えていく必要がありますね

出席者の声



親子でおもちゃ遊び



お正月をみんなと遊んだ

今年もコロナの感染対策をとりながら、1月8日(日)開催された新春恒例の行事

「ハッピーニューカーききょうフェスタ」には、乳幼児から中学1年生89人が参加しました。

小学校2年生以下は「世界のおもちゃ体験」、3年生以上は「科学あそび(静電気をつくろう)」を。「おもしろかった」「いろいろ遊べてたのしかった」などと話してくれて、市民センターは元気な子どもの声と笑顔がいっぱい、うれしいお菓子の福袋と赤飯をもらって帰りました。

住民交流部会

私の背の高さまで
積んだよ!

静電気をつくりました

趣味三昧の私の人生

健康人

中條さんは多彩な趣味を生き甲斐として、今日もあちこちへ奔走しています。

高校生の時に、国語の先生の詩吟を聞いてから興味を抱き、伴奏の尺八の音色にも感銘を受けて、20歳の頃から詩吟と尺八を趣味として活動。

その後、団碁も趣味に加わり定年、定年後は自慢の喉と尺八で民謡を本格的に始めて、10年前から名張音頭保存会会長を務める。

また、伝統文化のひとつ、相撲甚句の普及にも努めて、名張相撲甚句会、桔梗南さわやか相撲甚句会で指導、余りの忙しさで詩吟(師範)と団碁(3段)は休憩。カラオケサークルの他に、ラジオ体操、フリーピンポン、スクエアステップなど健康づくりにも熱心で「カレンダーは予定で真っ赤です」と。



国民文化祭で演奏

中條 正治さん
(南3番町)

年末年始 地域の安全・安心を確保

12月29日(木)、消防団の年末特別警戒を慰労し、桔梗が丘班の団員と意見交換をしました。

一番の問題は「活動できる団員が少ないこと」。

できる時間、できる範囲内の活動を地域住民に説明して団員を増やしたいと考えています。

自治連合協議会は、住民の皆さんとの協力を得て、消防

団と協働して安全・安心を図っていきます。

桔梗が丘自治連合協議会 会長 大垣孝彦



毎年、年末には消防団桔梗が丘班の皆さんにより桔梗が丘地域の特別警戒が行われて、住民の防災意識の高揚と火災予防の徹底を図っています。

生活安全部会

また、桔梗が丘7番町1区と2区では役員、住民が年末と年始にも見回りをして、地区の安全・安心を確保しました。



消防団員募集中



YouTubeで桔梗が丘班を紹介しています



寄贈有難うございました

● 市民センターに
「ロビーピアノ」

来館者に憩いをと、地域の方から電子ピアノを寄贈して頂きました。

近く、お披露目の演奏会を予定しています。ルールができるまで、市民センターに声掛けをして使ってください。



● お米30kgと20kg

地域のお二人の方から、桔梗が丘自治連合協議会へ年末に心温まる品を頂きました。

桔梗が丘自治連合協議会のロゴシール作成

去年制定の協議会ロゴマークの周知を図るため、シールを作成しました。桔梗が丘が目指す将来像「人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち”桔梗が丘」をキヤッチフレーズに持続的なまちづくりを進めましょう。シールは市民センターとほっとまち茶房に置いています。ロゴマークのデータが必要な方は、市民センターへ連絡ください。

企画運営委員会

シリーズ

本当はすごいラジオ体操（10回目）

体をまわす運動

腰の周りの筋肉を伸ばし背骨を柔軟にします。

- ・体を大きくまわすとき、肘と膝が曲がらないようにしましょう
- ・できるだけ大きくまわします



サークル紹介

二十六年前から始まり、細く長く続いています。メンバーは中国と関わりのある人が多いですが、教室の雰囲気がよくて入会された方もいます。

先生は上海出身、美しい標準語の発音で、半分以上中国語で授業していますが、全部わからなくとも前後の文脈や、ちょっととしたヒントで何となくわかります。中国語は発音が難しいので、テレビの「中国語会話」などで自習しています。入会をお待ちしています。



市民センター

第2・4金曜日

10時～12時

初めての方もお気軽に参加ください

サークルの問合せは市民センター ☎65-1206まで

NEWS!

ほっとまち茶房きょう

「歌声喫茶」を再開します

2月22日(水) 13時～14時

市民センター 1階ロビー

演奏：JOY JOY バンド

曲目：女ひとり／旅人よ／小さな日記他

名張YMクラブ・桔梗マルマル絵画教室・上野スケッチ教室のみなさんによる「干支の絵馬展」が、1月10日(火)～29日(日)市民センターロビーで開催。うさぎをモチーフにした82点の絵馬への投票も行われました。

同時に中柱では、「版画年賀状」(藤野秋由さん 南1番町)と「百人一首に隠された水無瀬の里」(池田由紀子さん 2番町)の二つの作品が新春を飾り、来館者の目を引きました。



お知らせコーナー

お知らせに関する問合せ、申込先は、
桔梗が丘市民センター内
桔梗が丘自治連合協議会
☎65-1206まで

LINE公式
アカウントFacebook公式
アカウント

協議会HP

普通救命講習会

3月5日(日) 9時~12時 名張市消防署

内容:止血法、異物除去法、心肺蘇生法、AED取扱い法
募集:15名(2月23日までに市民センターへ)

受講者には「救急救命講習修了証」が交付されます

生活安全部会

「議会報告会」のビデオ放映

「桔梗が丘駅前再開発について」をテーマにした議会報告会のビデオを市民センターロビーで放映します

2月15日(水) 13時30分~15時

広報委員会

映画鑑賞会の案内

～限りある命を貴方なら どう生きますか～

いのちの停車場

監督 成島 出／原作 南 杏子／出演 吉永小百合他

3月12日(日) 13時~15時30分
市民センター講堂(入場無料)

マスクの着用・検温・手指消毒に協力お願いします



行事

備考

主催

開催日時	行事	備考	主催
3月9日(木)、23日(木)	リバイバルよくばり青春体操(14時~15時)	桔梗が丘市民センター講堂	市民センター
3月10日(金) 10:00~12:00	リズム体操	桔梗が丘市民センター講堂	健康推進部会
3月17日(金) 10:00~12:00	おひさま市場と月一マルシェ	1番町商店街空き店舗前	おひさま市場 毎週火・金曜日
3月21日(火) 10:00~11:30	ききょうなかよし広場	桔梗が丘市民センター講堂	地域福祉部会 (民児協)

コロナ対策のため行事日程が変更になる場合があります

桔梗が丘駅前再開発は地域最大の関心事、名張市と地域がタッグを組んでトライするのを見守り、情報をタイムリーにききょう通信で発信していくことになります。市主催の広報研修会に参加して、広報紙の作成、SNSの活用などを学んできました。研修を通じて、「読みやすい」と「見やすい」のは違うこと、何を重要にするかで広報紙が変わることに気付きました。まだまだ摸索しながらですが、これからも多世代に親しまれる広報紙を目指します。

(編集スタッフ一同)

編
集
後
記



松村 健さん
(2番町)

根気と集中力、指先を使うのと脳の活性化にと考へて、始めてから5年になります



伊勢型紙「富嶽三十六景」

ほっとまち“趣味”